



学校だより



のびていこう「わかる つながる 高め合う」はやぶちっ子

遠足のシーズン到来

校長 土屋 俊朗

朝夕の空気は澄み渡り、夜には涼やかな虫の声。秋の深まりが一層感じられる今日この頃。遠足のシーズンの到来です。

先日、1年生と一緒に野毛山動物園に行ってきました。出入り口が一つのこぢんまりとした動物園ですので、グループで行動するように計画しました。

まとめ役の“リーダー”を先頭に、時間管理の“とけいががり”が集合時刻に間に合うように時計とにらめっこ。“ほけんがかり”は具合が悪い子がいないか気を配り、“おべんとうがかり”が「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶を司ります。なかよくお弁当を食べた後は、“かんきょうがかり”が、ごみが落ちていないか目を光らせます。ちょっぴり気を張りつつ、自分の役割に誇りと責任をもって取り組んでいる様子が可愛らしく、また頼もしく思えました。友達となかよく、動物とふれあい、秋の一日を存分に楽しんでまいりました。

遠足は、ちょっとした日常からの脱却。「遠くに足をのばす」…なんだかうきうきするような語感です。ちなみに3年生以上の学年は、校外に出る学習を「社会科見学」と位置づけています。これまでに、4年生は資源循環局ごみ焼却工場の見学、5年生は放送ライブラリーの見学と「ふれあいコンサート」の鑑賞、6年生は歴史博物館の見学を行いました。この先、3年生は日本民家園、6年生は東京見学を予定しています。

外で、みんなで一緒に食べるお弁当というのは、どうしてあんなにおいしいのでしょうか。そして、教室とはまた違った子どもたちの表情や行動が見られるのも、遠足の面白いところ。「この子に、こんな面もあったのか…」と、子どものもっているよさを再発見することもしばしばです。

遠足のいちばんの目的は、「みんなで楽しく過ごす」こと。この“みんなで”というところがポイント。“みんな”には、友達はもちろん、まちの方たちや電車に同乗している方々なども含まれます。“みんな”が快適であるためには、一人ひとりがきまりを守ったり、マナーを意識したりすることが不可欠。子どもたちは楽しむことを通して、お互いを思いやり、協力する態度を身に付けていきます。遠足も学校での学習と同じように、大切な学びの場なのです。

実は、この文章を書いているのは10月29日。明日30日は2年生の遠足、江ノ島水族館に行つてまいります。子どもたちが、どんな表情を見せてくれることでしょうか。とても楽しみです。

11月の目標

- 【生活】 みんなでつかうものを大切にしよう。
- 【保健】 手洗い・うがいをしよう
- 【給食】 黄、赤、緑の組み合わせを考えて食べよう

